

科目	応用建築設計製図I (Advanced Architectural Design and Drawing I)		
担当教員	亀屋 恵三子 准教授		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	A4-AS1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	この科目は設計に最低限必要な製図法の基礎を修得するための演習である。製図法の基礎的な考え方やルール、記号や専門用語といった知識に加え、建築の計画手法製図に必要な実技の習得を行う。具体的には、住宅の設計を行ってもらい、特定の敷地を題材として、敷地の周辺環境を読み解く技術、さまざまな要求を整理統合する技術、人の生活をイメージしながら空間を構想する方法を学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-AS1】戸建て住宅を設計することができる		提出図面にて評価する
2	【A4-AS1】住宅模型を制作することができる		提出図面における模型写真にて評価する
3	【A4-AS1】プレゼンテーションができる		提出図面のレイアウトおよびプレゼンテーションにて評価する
4	【A4-AS1】作成したものを第三者にわかりやすく伝えることができる		プレゼンテーションにて評価する
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、プレゼンテーション10% 戸建て住宅図面（平面・立面・断面）60% 模型写真および図面の加工・レイアウト30% として評価する。100点満点中60点以上を合格とする		
テキスト	適宜プリントを配布		
参考書	「やさしく学ぶ設計製図」, 松下希和 著, 2011		
関連科目	建築計画, 建築計画概論, 土木・建築設計製図IV, 応用CAD, CAD基礎		
履修上の注意事項			

